



第90期 報告書

平成27年4月1日～平成28年3月31日

CBC

中部日本放送株式会社

証券コード：9402



株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに、当社第90期報告書(平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)をお届けいたします。

変化に対応するグループ戦略

当社は昨年、創立65周年を迎え、今年9月にはC B Cラジオが開局65周年、12月にはC B Cテレビが開局60周年を迎えます。

当期は増収増益を果たすことができましたが、当社グループの中核である放送事業を取り巻く環境は、構造的な変革期を迎えています。私ども企業グループが持続的に成長、発展していくためには、グループ各社が

連携して、放送の価値を相対的に高めるための事業強化を図る一方、新たなビジネスの芽も育てていく必要があります。

グループ各社を蜘蛛の巣状につなげ、相互にリソースを活用する「Webフォーメーション」体制も、攻めの形が整いつつあり、当期は、グループ各社が協業して、大学の周年事業や三河の山里地域誘客促進事業における広報事業活動を展開し、具体的な成果として収益の拡大を図ることができました。

経営方針の3本柱

当社グループの経営方針は、持続的成長に向け、「確かな情報」、「高精細な映像」、次世代技術の「ICT」の3つを重点的に推進することです。メディアの多様化、高度化に対応するためには、この3本柱を強化することが必要であり、そのための組織として当期、『**次世代メディア委員会**』を設置しました。この委員会は、4K・8Kの超高精細映像技術や新たなコンテンツサービスの可能性について追求していくための組織です。その一環として、当社グループのC B Cテレビが中心となって、伊勢神宮の1年を4Kカメラで撮影、取材するプロジェクトをスタートさせました。今後は、放送コンテンツとして番組化し、世界に向けて発信するとともに、放送に限定しない素材の活用策およびマネタイズ化を探っていきたいと考えています。



代表取締役社長

杉浦正樹

コンテンツの価値向上

CBCテレビの情報生ワイド番組『ゴゴスマ～GOGO!Smile!～』は、元々ローカル向けに企画した番組でしたが、エリアを越えて昨年3月からは関東地区で、今年4月からは仙台地区でも放送を開始しました。また、民放各局が共同で開始した「TVer」というインターネットによる見逃し配信サービスに、現在、日曜夜に全国放送している『旅ずきんちゃん』を提供しています。

放送コンテンツを展開する伝送路は、今や多岐に広がっています。私どもはインターネット利活用をはじめ、次世代に向けた「ICT」戦略を推し進め、地域へ、全国へ、そして世界へと、必要とされる情報や番組を提供し、コンテンツの価値を最大化していくことが重要だと考えています。

ラジオリスナー層の拡大

一方、CBCラジオは、12月の聴取率調査で、3回連続となる総合1位を獲得しました。ラジオの基本姿勢は、地域との接点を強め、より身近なパーソナルメディアとしての存在を維持し続けることです。インターネットラジオサービス「radiko」や、若年層向け番組の深夜帯での編成にイベントも絡めた展開で、リスナー層の拡大を図っています。また、10月には、ワイドFM(FM補完放送)も開局してAM放送難聴エリアの問題も解消され、いざという時に役立つ安全、安心メディアとしての機能も強化されました。

成長を支えるための基盤強化

今年4月に発生した熊本地震では、放送メディアが果たす役割の大きさを再認識しました。当地域においても大震災が発生する可能性が以前から指摘されています。このため、当社グループでは、日ごろからテレビやラジオの番組を通じて、防災、減災をテーマにした啓発活動を行っています。また、10月に増築工事が完了した放送センターではBCP機能を増強し、有事の際には万全な放送体制で臨めるよ

うな制作・送出環境の整備を図りました。来年夏竣工予定のCBC西別館には、グループ会社を集めることで、各社間のさらなる連携強化を図ります。また、CBC会館の再開発をはじめ、保有する資産を中心とした不動産事業収益の最大化や新たな収益物件の開発など、事業のポートフォリオ戦略を推し進め、経営基盤の強化にも努めていきます。

また人材面では、グループ内での人的交流による活性化や女性や高齢者が活躍できる体制、制度の構築を進めることにより、グループ全体の競争力強化を図っていく考えです。

次世代に向けて

「情報」「映像」「ICT」を柱に、新しい収益構造の創出による成長戦略の推進、グループ内外の資源活用と連携強化による収益機会の拡大という目標を実現し、今後いかなる環境変化が起きても、それに対応できる磐石なグループ体制を構築していきたいと考えています。

当社グループは、これからも「地域で最も信頼されるメディア企業グループとして、地域社会の経済や文化の発展に寄与する」ことにまい進し、あらゆるステークホルダーの皆さまに最大の満足を提供できるよう弛まぬ努力を続けていきます。

株主の皆さまにおかれましては、より一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成28年6月

CONTENTS

株主の皆さまへ	1	〈その他〉	10
CBCグループ事業概況	3	業績ハイライト	11
〈放送関連〉 テレビ	3	連結貸借対照表 (要旨)	12
イベント&コンテンツ	5	連結損益計算書 (要旨)	12
ラジオ	7	連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)	12
グループ協業の取り組み	9	会社情報	13
〈不動産関連〉	10	株式情報・株主メモ	14

放送関連

このセグメントは、中部日本放送(株)、(株)CBCテレビ、(株)CBCラジオ、(株)CBCクリエイションならびに(株)シー・ウェーブで構成されます。

「放送関連」は、テレビスポット収入が堅調な市況や視聴率の上昇を背景に好調に推移したことや、大型のフードイベント開催によりイベント収入が増加したことなどから、売上高は304億64百万円(前期比3.8%増)となりました。利益面では、テレビ事業の増収効果に加え、映画出資事業において利益が増加したことから、営業利益は10億85百万円(前期比10.8%増)となりました。

テレビ

地域そして全国への情報発信



ゴゴスマ～GOGO! Smile!～



イッポウスベシャル
防災列島-巨大地震を迎え撃つ-



なるほどプレゼンター!花咲かタイムズ

情報生ワイド番組『ゴゴスマ～GOGO! Smile!～』(月～金曜 13:55～15:58放送)は、エリア内はもとより、全国のニュースや異常気象、芸能情報など、その日の最新情報をお伝えするコーナーを増やし、情報発信力の強化を行いました。関東エリアでも9月からは前半1時間に後半を加えた2時間の放送となり、今年4月4日からは東北放送(宮城県)でも放送が始まっています。

報道情報番組『イッポウ』(月～金曜 16:52～19:00放送)は、ニュースを「より速やかに、より深く」伝えることに注力した結果、TBSテレビ系列の優れたスクープ報道に贈られるJNN月間賞を当期は4度受賞するなど、報道取材力の高さが評価されました。また、3月には、『イッポウスベシャル 防災列島-巨大地震を迎え撃つ-』を放送し、南海トラフ地震の最新の研究

や防災情報、東日本大震災の被災地の現状を伝えました。

情報生ワイド番組『なるほどプレゼンター!花咲かタイムズ』(土曜 9:25～11:30放送)は、年間平均視聴率は8.6%を獲得、8年連続で同時間帯1位となっています。

全国向け番組

レギュラー番組では、『健康カプセル! ゲンキの時間』(日曜 7:00～7:30放送)と、『旅ずきんちゃん』(日曜 23:30～24:00放送)を放送しています。『健康カプセル! ゲンキの時間』は、健康医療の最新情報のほか、仕事や地域と健康との関連性など新たな切り口による番組作りを行い、関東エリアの視聴率は、年間平均6.4%と前期に比べて0.4ポイント上昇しました。また、『旅ずきんちゃん』も、川の源流を目指す旅や、ご当地グルメを食べつくす旅など、番組企画に娛樂的な広がりをつけ、関東エリアで年間平均視聴率は4.5%と前期に比べて0.4ポイント上昇しました。このほか単発番組として、脚本家に地元岐阜県出身の北川悦史子を3年連続で起用しロケ地も地元白川郷とした『スペシャルドラマ 三つの月』(10月)で大人の恋愛を描きました。



健康カプセル! ゲンキの時間



スペシャルドラマ 三つの月



各賞を受賞!

平成27年日本民間放送連盟賞テレビCM部門で、『キレいに、定年はない。』(広告主・POLA 60秒)が最優秀、『メロンに寄り添う男』(自社媒体PRスポット 105秒)が優秀を受賞しました。

また、平日早朝に放送しているBOYS AND MENによる『ボイメン体操』が、テレビと視聴者の触れ合いの機会を作ったことが認められJNNネットワーク協議会

賞奨励賞を受賞しました。



キレいに、定年はない。



メロンに寄り添う男

当期の年間平均視聴率は、全日帯(6:00～24:00)が前期比+0.2ポイントの7.2%、ゴールデンタイム(19:00～22:00)が前期比+0.4ポイントの11.3%、プライムタイム(19:00～23:00)が前期比+0.5ポイントの11.2%と、いずれも前期を上回りました。



イベント&コンテンツ

ゴルフ

男子ゴルフの『第56回中日クラウンズ』(4月～5月)は好天に恵まれて熱戦が繰り広げられ、韓国のI・J・ジャン選手が3年ぶり2度目の優勝を飾りました。本戦の前には青木功・片山晋呉・尾崎直道ら歴代優勝者による『チャンピオンズマッチ』が行われました。ギャラリーは本戦4日間で29,519人を集め、男子ゴルフ国内トーナメント8年連続第1位の観客動員を記録しました。



第56回中日クラウンズ
I・J・ジャン選手

音楽

『第38回名古屋国際音楽祭』(4月～7月)は、ピアニスト小山実稚恵によるラフマニノフの二大コンチェルト公演がチケット完売となるなど、バラエティに富んだ全7公演で多くのクラシックファンを魅了しました。ロック・ポピュラーでは、『2 CELLOS』(7月)、『デフ・レパード』(11月)、『TOTO』(3月)などを開催しました。毎年恒例の『青春のグラフィティコンサート2016』(1月)は、今年もチケットが前売りで完売する人気で、会場に集まった大勢のファンを沸かせました。



第38回名古屋国際音楽祭
小山実稚恵 ラフマニノフ 二大コンチェルト
©CBC/木村一成

CBC創立65周年記念事業

『Riverdance 20years』(4月)、特別公演『宮内庁式部職楽部—重要無形文化財 雅楽— 東遊と管絃』(5月)、『スペイン国立バレエ団』(11月)、『宝塚歌劇 雪組全国ツアー 豊田公演』(12月)、『高野山の聲明 大曼荼羅供』(3月)などさまざまなジャンルの公演にも挑戦しました。



Riverdance 20years

さまざまな取り組み



脱線刑事

テレビとスマートフォンなどの画面を連携させる「セカンドスクリーン」への取り組みとして、ドラマの途中でクイズを出題し、スマートフォンの早押しで答えるという『前代未聞の早押しクイズ連動ドラマ「脱線刑事」』(12月)を放送しました。

また、日本人最速で世界チャンピオンに輝いたプロボクサー田中恒成選手と中日ドラゴンズ似顔絵サイト『どら似』の2種類のLINEスタンプの配信を開始しました。



LINEスタンプ
プロボクサー田中恒成選手
中日ドラゴンズ似顔絵サイト
『どら似』

映画

『ビリギャル』や『予告犯』、テレビドラマから映画化された『劇場版 MOZU』など8作品に出資を行い、中でも『ビリギャル』は興行収入28億円を超える大ヒットになりました。



©2015 映画「ビリギャル」
製作委員会

その他イベント

約30万人を集客した食のイベント『肉フェス NAGASHIMA RESORT 2015秋』(9月)や『名港 水上芸術花火2015』(10月)など新しい取り組みも始めました。

ラジオ

「地域No.1ラジオ局」を目指して

CBCラジオは、前期までの3年間、高い改編率で、大幅な番組の見直しと次世代を担うパーソナリティの発掘・育成、新規リスナーの獲得を目指してきました。当期は「蒔いた種を大きく育てる1年」をテーマに、レギュラー中心の編成を行い、各番組



つボイノリオ、小高直子アナウンサー

の定着をはかりました。自社制作率は生活時間帯(6:00～24:00)で春が約86%、秋が約80%です。

これらの積み重ねが少しずつリスナーに浸透し、6月と12月の聴取率調査において、総合、平日平均、日曜平均で



北野誠

1位を獲得しました。『つボイノリオの聞けば聞くほど』(月～金曜 9:00～11:55放送)が、全番組中で聴取率1位を記録したほか、『北野誠のズバリ』(月～金曜 13:00～16:00放送)、『CBC歌謡ベストテン』(日曜 21:00～22:10放送)が連続で同時間帯1位となりました。

4年連続受賞

有害鳥獣駆除の実態を紹介し「狩猟」と「駆除」のはざまで揺れる猟友会の心の葛藤を描いたドキュメンタリー『狩りと駆除のはざままで ～里へ降りてくるどうぶつたち』が平成27年日本民間放送連盟賞ラジオ報道番組部門で優秀を受賞。4年連続の連盟賞受賞となり、高い制作力をアピールしました。また、



狩りと駆除のはざままで ～里へ降りてくるどうぶつたち

放送後に追加取材・再構成を行った『贄の森』は第42回放送文化基金賞番組部門ラジオ番組で最優秀賞を獲得しました。

3大イベント

タイム、スポットとも厳しい営業環境の中、個々のクライアントニーズを盛り込んだ企画提案型セールスを展開し、恒例の『CBCラジオ夏まつり2015』(7月)、『CBCラジオ秋まつり2015』(11月)、新生活応援企画『YELL! キャンペーン』(3月)をCBCラジオの3大イベントと位置づけ、人を動かすメディアとしてのラジオをアピールしました。中でも名古屋・栄の久屋大通公園の3会場で行われた『CBCラジオ夏まつり2015』は過去最高の22万



CBCラジオ 夏まつり2015

8,000人、岡崎市で行われた『CBCラジオ秋まつり2015』は7万5,000人の来場者を集めました。



CBCラジオ 秋まつり2015



YELL!キャンペーン

ワイドFMスタート

災害対策や都市難聴の解消のために、これまでのAM放送に加えてワイドFM放送(93.7メガヘルツ)を10月1日から名古屋市とその周辺を対象エリアとして始めました。これにより、ビルやマンションなどの建物内でも従来より聴こえやすく、クリアな音声でCBCラジオを楽しんでいただけるようになりました。



グループ協業の取り組み

大学の周年事業や行政の地域振興政策について、グループ各社が連携して総合メディアコンサルタント機能を発揮し、番組制作、イベントの実施、他媒体への広告展開など、CBCグループならではの協業の成果を出しました。このうち、愛知県の三



河山間地域誘客促進事業「山里の魅力創造社」プロジェクトでは、CBCクリエイションが奥三河の魅力を伝えるテレビ番組、ラジオ番組、イベントなどを企画し、CBCテレビが『プレ旅MAX～山里の魅力創造社』、『旅MAX～山里の魅力創造社』（7月～12月）を放送、CBCラジオとシー・ウェブ



旅MAX～山里の魅力創造社

がラジオのワイド番組内のコーナーで特産品やバスツアーを紹介するなど、プロモーションを展開しました。

高度化・多様化が進む放送サービスについて幅広く情報収集を行い、CBCグループとしてハード・ソフト両面での具体的な対応を検討するために『次世代メディア委員会』を設置しました。その一環として、CBCテレビが中心となって伊勢神宮の1年を4Kカメラで撮影、取材するプロジェクトをスタートさせました。超高精細の映像を通じて神宮の四季折々の美しさ、



日本人の自然観や祈りの心を伝える同コンテンツは、伊勢志摩サミットにあわせて開設された展示コーナーでも紹介され、国内外のサミット関係者から高い評価を得ました。

不動産関連

このセグメントは、中部日本放送(株)と(株)千代田会館で構成されます。

「不動産関連」は、東京の賃貸ビルにおいて新規テナントの入居により賃料収入が増加したことや、太陽光発電の売電収入が堅調に推移したことなどにより、売上高は14億89百万円(前期比3.0%増)となりました。利益面では、増収効果や減価償却費の減少に加え、前期には賃貸商業施設への大規模修繕によって膨らんだ修繕費が当期は大きく減少したことから、営業利益は8億73百万円(前期比46.9%増)となりました。

その他

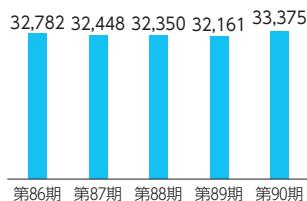
ゴルフ場事業を営む(株)南山カントリークラブ、保険代理業などを営む(株)CBCビップスならびにタクシー業を営む文化交通(株)で構成される「その他」は、売上高が14億20百万円(前期比3.6%増)、営業利益は1億18百万円(前期比30.2%増)となりました。

当連結会計年度におけるわが国経済は、緩やかな回復を続けました。企業の設備投資は、収益が改善する中で増加基調となり、個人消費の面でも、雇用・所得環境の着実な改善を背景に、底堅く推移しました。また、テレビの広告市況は、第1四半期こそ落ち込みを見せたものの、第2四半期から年度末にかけて徐々に回復傾向が強まっていったことにより、年度全体としては堅調に推移しました。

このような事業環境の下、当社グループの当連結会計年度の売上高は、333億75百万円(前期比3.8%増)、営業利益は20億77百万円(前期比24.7%増)となりました。また、営業外収益における受取配当金が増加したことから、経常利益は36億83百万円(前期比76.6%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は22億98百万円(前期比75.1%増)となりました。

(単位:百万円)

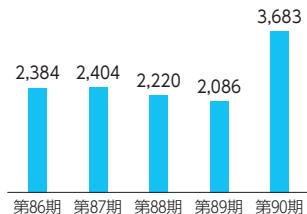
● 売上高 (連結)



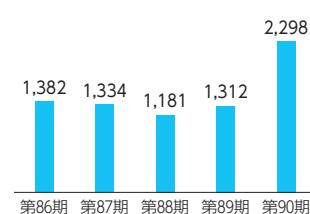
● 営業利益 (連結)



● 経常利益 (連結)



● 親会社株主に帰属する当期純利益



連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科目	当期 平成28年 3月31日現在	前期 平成27年 3月31日現在
《資産の部》		
流動資産	26,802	26,106
固定資産	41,396	41,200
有形固定資産	23,354	23,486
無形固定資産	338	316
投資その他の資産	17,702	17,397
資産合計	68,198	67,306
《負債の部》		
流動負債	5,809	7,730
固定負債	12,478	11,497
負債合計	18,287	19,227
《純資産の部》		
株主資本	48,316	46,440
資本金	1,320	1,320
資本剰余金	654	654
利益剰余金	46,343	44,467
自己株式	△0	△0
その他の包括利益累計額	835	884
その他有価証券評価差額金	4,427	3,477
退職給付に係る調整累計額	△3,592	△2,592
非支配株主持分	758	754
純資産合計	49,910	48,079
負債純資産合計	68,198	67,306

連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	当期 平成27年4月1日から 平成28年3月31日まで	前期 平成26年4月1日から 平成27年3月31日まで
売上高	33,375	32,161
売上原価	18,296	17,783
売上総利益	15,078	14,378
販売費及び一般管理費	13,001	12,713
営業利益	2,077	1,665
営業外収益	1,690	493
営業外費用	84	72
経常利益	3,683	2,086
特別利益	18	80
特別損失	90	47
税金等調整前当期純利益	3,612	2,119
法人税、住民税及び事業税	1,307	1,179
法人税等調整額	△2	△367
当期純利益	2,306	1,307
非支配株主に帰属する当期純利益又は 非支配株主に帰属する当期純損失(△)	7	△5
親会社株主に帰属する当期純利益	2,298	1,312

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	当期 平成27年4月1日から 平成28年3月31日まで	前期 平成26年4月1日から 平成27年3月31日まで
営業活動による キャッシュ・フロー	2,772	3,384
投資活動による キャッシュ・フロー	△1,241	△3,461
財務活動による キャッシュ・フロー	△849	△858
現金及び現金同等物の 増減額	682	△935
現金及び現金同等物の 期首残高	14,486	15,422
現金及び現金同等物の 期末残高	15,168	14,486

- 設立年月日 昭和25年12月15日
- 商号 中部日本放送株式会社 (略称CBC)
- 英文表示 CHUBU-NIPPON BROADCASTING CO.,LTD.
- 本社 名古屋市中区新栄一丁目2番8号
- 資本金 13億2千万円

■ 子会社の概況

会社名	資本金 (百万円)	当社の出資比率 (%)	主要な事業内容
(株) CBC テレビ	100	100.0	放送法による放送事業 (テレビの放送)、番組制作販売、音楽・スポーツ等のイベント等
(株) CBC ラジオ	20	100.0	放送法による放送事業 (ラジオの放送)、放送送出業務の請負
(株) CBC クリエイション	40	100.0	放送番組の企画制作
(株) シー・ウェーブ	30	100.0	広告代理業
(株) 千代田会館	300	66.6	不動産の所有・賃貸・管理
(株) 南山カントリークラブ	10	100.0	ゴルフ場の経営
(株) CBC ビップス	60	100.0	不動産の管理、保険代理業、プレイガイド、OA機器販売
文化交通 (株)	20	100.0	タクシー業

■ 取締役および監査役

代表取締役社長	大杉 石	幼正 一
代表取締役社長	大杉 浦	幼正 樹
取締役	小杉 山	正 勇
取締役	岡 谷	篤 一
取締役	河野 井	英 雄
取締役	安河内 津	香 一
取締役	河茶 村	市 三
取締役	林 村	俊 一
取締役	村 升	尚 樹
取締役	伊藤 藤	元 郎
取締役	近藤 藤	道 司
常勤監査役	佐藤 野	嘉 彦
常勤監査役	石川 橋	孝 之
監査役	川口 田	文 夫
監査役	柴田 柴	昌 治
監査役	佐々 和	夫

株式情報・株主メモ

(平成28年3月31日現在)

発行可能株式総数 80,000千株
 発行済株式の総数 26,400千株
 株主数 3,263名

■ 大株主の状況

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
株式会社中日新聞社	2,602	9.85
竹田本社株式会社	1,700	6.43
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,300	4.92
JP MORGAN CHASE BANK 380684	1,168	4.42
三井住友信託銀行株式会社	1,167	4.42
株式会社ナゴヤドーム	1,040	3.93
中部電力株式会社	883	3.34
株式会社名古屋銀行	825	3.12
名古屋鉄道株式会社	822	3.11
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	711	2.69

■ 株式分布状況

所有者別株主数 / 所有者別株数	株主数	株数
政府・地方公共団体	12名	1,454,724株
金融機関	20名	7,041,420株
証券会社	15名	33,978株
その他の法人	94名	10,880,984株
外国法人等	33名	2,370,583株
個人・その他	3,088名	4,617,178株
自己名義株式	1名	1,133株

■ 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
剰余金の配当の基準日	期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日
株主に関する住所変更等の届出およびご照会について	証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、下記の電話照会先にご連絡ください。
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	名古屋市中区栄三丁目15番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎ 0120-782-031
(インターネットホームページURL)	http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html
特別口座について	株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設しております。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。
公告の方法	当社のホームページに掲載します。(http://hicbc.com) ただし、事故その他のやむを得ない事由によって電子公告による公告ができない場合は、名古屋市で発行される中日新聞に掲載します。
上場金融商品取引所	名古屋証券取引所市場第一部

CBCテレビ開局60周年&CBCラジオ開局65周年

昭和31年12月1日に放送を開始したCBCテレビは、今年、開局60周年を迎えます。

そこで、今年4月から来年3月までの1年間を開局60周年期間と位置づけ、放送エリア内の皆さまへの感謝の気持ちを含めて、60個のさまざまな企画を実現する『60(ろくまる)サンキュー!』プロジェクトを展開しています。

また、昭和26年9月1日に日本で最初の民間放送としてスタートしたCBCラジオは、開局65周年を迎えます。

公式ホームページ上に特設サイト『ASHIATO』を開設し過去のジングルを公開しているほか、CBCラジオのパーソナリティと全国の人気パーソナリティがタッグを組んだ特別番組『ドリームマッチ』を放送しています。

CBCテレビ開局60周年



サンキュー!



CBCラジオ開局65周年



CBC

中部日本放送株式会社

本 社

〒460-8405 名古屋市中区新栄一丁目2番8号

電話 (052) 241-8111 (代表)